

微
鏡
.com



BIBON KANEYAMA



金山微住

森のまちを クリエイティブに遊び、暮らす。

「微住[®]」(以下、「微住」)とは、
台湾と日本をつなぐ文化交流プロデューサーであり
生活芸人の田中佑典が提唱する、一般的な観光でも移住でもなく、
暮らすように1~2週間程度、地域の滞在を楽しむ旅を指す造語です。
いわゆる消費型/スタンプラリー型の“観光”ではなく、
暮らしを味わい、地元の人たちとの関係を育みながら、
自身の第3のふるさと“ゆるさと”をつくる旅。
コロナ禍の逆境にも負けず、むしろ日本人同士のローカル旅としても
同じようなイズムを持った日本の他地域へカルチャーが広がりつつあります。
今回の舞台は山形県最上郡金山町。
このまちは微住とピッタリだと感じたのは、
このまちのプロジェクト「K-hour」で“金山の時間”を軸に
まちの魅力を発信する金山町役場の丹健一郎さんとの出会いから。
「クリエイター×微住」をテーマに全国から参加者を募集し、
5名のクリエイターとともに1週間の「金山微住」はスタートしました。

微住的暮らしの3つのコンセプト

1
タメづくり

地域側も微住者もお互いの“タメ”
になることを生み出すことで関係が
深まっていくことを指す。

2
一期三会

ご存知の“一期一会”をもじった
造語で、微住中何回か顔を合わすこと、
そして微住が終わっても何度も会える
関係を指す。

3
ゆるさと

自分の産まれた故郷とは別に、
特定の地域と関係を育むことで
第3くらいのふるさとのような
地域を指す。



今野 颯
SOU KONNO

職業 東北芸術工科大学 デザイン工学部
コミュニティデザイン学科 学生
出身地 秋田県



なぜ微住に参加したか？

大学の先輩で、金山で地域おこし協力隊をやっている方に誘ってもらったのがきっかけです。ものづくりと木材が好きで、以前から金山に行きたかったことが決め手になりました。また、金山の建築や木工作品に触れたり、他のクリエイターの方と交流したいという思いもありました。

内海 悠
YU UTSUMI

職業 映像ディレクター
出身地 東京都

なぜ微住に参加したか？

東京都と神奈川三浦市の三崎という小さな港町で2拠点生活をしてきた時期があり、地方の小さく、でも深いコミュニティでの生活に心地よさを感じていました。地方で暮らすのもありかなあと考えていましたが、いざそこに暮らすとなると交通の便や深いコ

ミュニティならではの特微も聞いていたため、悩んでいました。そんな時期に「微住」メンバーの募集のお話を聞いて、「地方で暮らす」以外の新しい地方との関わり方をしてみたいと思い、参加しました。



田中 佑典
YUSUKE TANAKA

職業 生活芸人
出身地 福井県

なぜ微住に参加したか？

多種多様なクリエイターが集まっていただけで今回の金山微住。微住は本当にどんな結末になるかが読めない旅なので、個性派揃いのメンバーたちとどんな暮らしを生み出せるか、期待と不安の気持ちを抱えながら金山へ向かいました。



渡邊 大路
HIROMICHI WATANABE

職業 グラフィックデザイナー
出身地 秋田県

なぜ微住に参加したか？

以前にカネヤマノジカンデザインスクールに参加したことがあり、また金山町に行きたい、もっと金山町のことを知りたいと思い参加しました。あと、他のクリエイターの方々と一緒に創作活動を出来ることも魅力的でした。



稲葉 彩夏
AYAKA INABA

職業 絵本作家・ライター
出身地 神奈川県



なぜ微住に参加したか？

微住は観光地を撫でるように巡るふつうの旅とは違い、住人たちとじっくり関わって、町を内側から好きになっていくものだと思います。小さな町で過ごす、予定のない1週間。想像もつかないような新しい経験ができるんじゃないかと思い参加しました。

森本 絢
AYA MORIMOTO

職業 フォトグラファー
出身地 千葉県

なぜ微住に参加したか？

仕事柄東京を離れられないのですが、二拠点暮らしをしたく、場所や方法を探していました。その中で移住とは違った形で地方と繋がる微住というスタイルに魅力を感じたので参加しました。





微 住の序盤はできる限りまちを歩く。初日は荒めの解像度だった脳内のマップも、随時アップデートされ、土地勘がついてくる。自ら発掘するようにまちを歩き、気になったら入ってみる、触れてみる、話してみる、食べてみる。そこから地域の旨味がじゅわっと出てくる。微住者の1人、絵本作家の稲葉彩夏さん。まちを歩くと、たまたま子育て支援センターの先生たちと遭遇。翌日に子どもたちの誕生日会があるからと、是非絵本の読み聞かせをしてほしいという話になった。また、まちの雑貨店『一心堂』にも毎日のように通った。おまけをくれたり、割引してくれたり、日に日に仲良くなった。稲葉さんはそのお返しにと似顔絵のイラストとおしゃべりした中で心に残ったさりげない一言を“まちの名言”として添えて一枚のポストカードにしてプレゼントした。

微住で大事にしているのは一期一会ではなく“一期三会”。「また明日会いに来ます」と小さな約束を繰り返す。何かを大きく“変える”ことはできないが、暮らしの中で小さな約束を“交わす”そんな日々の繰り返しが、金山の本当の地域の旨味を味わえる方法なのだ。



キーワード
まちのフキヤンと
小さな約束

何気ない会話のなかで「なんかいいなあ」と思っ
た一言をピックアップ！

かのやまの 皆さんの 隠れた 名言たち

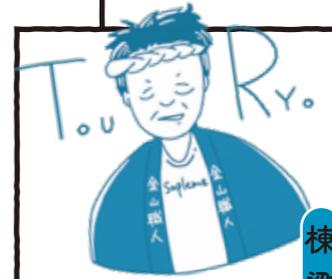
夫婦仲良すぎてほんと羨ましくなりました笑
仲がいいよ
子供が四人しか
いないから



丹鮮魚店

人間はみんな いい人だからよ

出会った人との関わりを大事にする棟梁らしいあ
たたい言葉です



棟梁

額縁作りから はじめたから

(これが)原点だから

モノづくりについて伺ったときの一言。原点を
大事にしつつ、今も多くの素敵な額縁を作って
いる姿がかっこいい！



岸家具店



一回も ない

一心堂
(金山町からでようと思ったことは)

即答で「ない」と言い切っ
たところに金山への愛を
感じました……!

草々って穏やかな感じで つけたの。早い早いは、 私にはできないの。



草々

店名の理由はまさにおっ
とりしていて優しい店主の
イメージにぴったり。
居心地がよくてつい長居
したくなるんですね。

ホーヤマヤ 電気さん

HOYAMAYA DENKISAN
「我が里」のMV撮影やイベントの音響システムなど、電
気・機械関係のことはなんでもおまかせ。微住中の演歌
イベントもホーヤマヤさんなしではできませんでした。



作詞家 秋田屋 純さん

SAKUSHIKA
AKITAYA JUNSAN

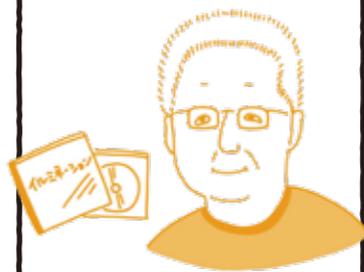
棟梁が歌う金山ふるさとの歌、「我が里」の作詞
家。情景が浮かぶ歌詞
は、金山の人々の心を掴
んでいます。

カワサキ屋の奥様

お店や自宅に飾られたカラフルで美し
い水彩画は圧巻！旨辛なれば味噌づく
りの名人としても有名です。



KAWASAKIYA no OKUSAMA



柴田さん

SHIBATASAN
金山でフォークソングといえはこの方。
代表作「イルミネーション」は人の出会いと別れ
をイルミネーションに例えた名曲です。

町役場の みくちゃん

MACHİYAKUBA no MIKUCHAN
キュートでちょっとダークな世界観のイラスト
トを描いている才能の塊。
展示会やSNSもぜひチェックしてほしい！



かのやまで 出会った いろんな才能

金山は面白い人たちの宝庫です

YAMAGATA KANEYAMA

KEY WORD

微金山 住山

#02



微 住者の1人、木工アーティストの今野颯くんは、このまちの銘木・金山杉への興味もあり、金山微住に参加した。微住では地域に携わる体験として地域の何かしらのためをつくる“タメづくり”を通じて、地域とより深い関係をつくることを目指している。仮に一般的な短い旅行だと、ものづくりの現場を内覧したり、簡単な体験で終わってしまうことも、微住は地域で暮らす“時間持ち”の旅。今野くんはまちの家具屋で金山杉を使った商品をつくる「岸家具店」に弟子入りすることになった。初日は緊張してた今野くんも、毎日通うことで、いつの間にか工場にも馴染み、様子を見に行くと日に日に本当の師弟ようになっていた。“様になる”というのはまさに地域に馴染んでいくことの表れなのだろう。

今野くんは岸家具に弟子入りをし、稲葉さんはお世話になったまちの皆さんの似顔絵と名言を添えたポストカードを、写真家の森本絢さんはまちの展示会の記録写真の撮影を…それぞれができることや得意なこと地域「タメ」づくりをしながら、普段の旅では越えられない“一線”を越える関係になっていった。

キーワード
地域の
タメづくり

OESHINIKKI

第3日記

written by 今野立風



Start

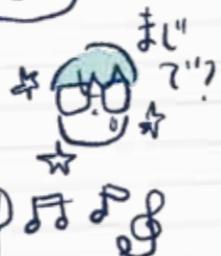
1日目

DAY

1

少し緊張する。棟梁や岸さんに褒められた。
木は2度3度生きるそうぞう。カッパツテ
岸家具さんのとろろ1週間の間お世話になれるか?
後たぶん食べた。声を張り出して歌った。

SING

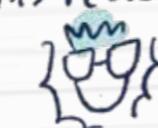


2日目

DAY

2

本間さんたちのきっかけ展の展示の片付けも手伝った。
ホストにて参加者同士で今後のミーティングをした。
そこで弟子入りすることが決まった。
電動工具の蘇澳サカシ布がったけど、
なんとかろつ分の額縁の木を切り出せた。
岸さんすごく優しく話しやすい。ご夫妻ご仲良くそう。素敵や
ためになる話聞かせてもらった。後住における最終成果の話合いで
大きい額縁を作ることになった。
もしかしたら大げさなのでは?
左衛門会の方から熊の瓜と牙をもらった。初めて触った。少し重厚。
明日は棟梁のとろろに行き、金山杉と建築について聞きに行こうかな。



SUTEKI

TSUZUKU!! → ツグ

3日目

DAY

3



DAY

4日目

5月

5



朝食を終え、ホテルからバスでホ-4センターに行って
道具を買った。棟梁のお家に向かったけど、
いよいよ来た。この町に何個もある休憩所が
休んでみた。町の中にこういう場所がある。素敵だよ。
棟梁から、金山杉と建築について聞くことができた。
午後は岸家具さんで額縁作り。昨日の額縁に塗装したり
板をどんどん入れた。どんどん完成。近づいている。
もの作りが一番好きは時間か。



URESHI

6

DAY

6日目



岸家具さんで最後の額縁作り。小さいものを
完成させたり、大きい額縁にポストカードを入れたり
自分の名前を入れてもらった。



7日目

7

DAY

棟梁に金山住宅について教えてもらった。木の選り方、儀式や
原掛の木の、優しい、安心できる空間を作る職人。一流の技を理間見かした。
大美輪の金山杉を見た。時間が止まったような空間だった。また来る。
木材を、少しも無駄にしない。気持ちが増えた。後住が終わった。
たった一週間しかいなかったけど、いわかる慕情というやつが生まれた。
OWARI!!

OWARI!!

初 日、まちで大工の棟梁・渡部俊治さんと出会った。彼は演歌歌手としても活動しており、「曲は近所の電気屋で聞ける」ということで近所の「ホーヤマヤデンキ」のテレビでMVを見せてもらった。驚いたことに作曲や作詞、撮影などもみんな金山町のおじちゃんたちのコラボだという。自らの暮らしを「つくる」ローカルの先輩たちの暮らしはこれぞ“クリエイティブ”だ。

その日の夜、宿「ホテルシェーネスハイム金山」にて、たまたま持参していた携帯用カラオケマイクで稲葉さんが唄った演歌に一同感動。これは棟梁の渡部さんとデュエットしたら面白いのではと、早速翌日渡部さんに提案をしてみることに。写真家の森本絢さんとデザイナーの渡邊大路さんがポスターを、そして映像クリエイターの内海悠くんはMVを滞在中に作ろうと、予期せぬ“即興”企画が動き始める。

演歌ユニットとなった棟梁と稲葉さん2人の練習場はホーヤマヤデンキやカラオケスナック。このコラボは微住者たちだけの力ではない。衣装の提供は岸家具の奥さんからお借りし、着付けとヘアセットは「cafe草々」の店主の阿部さんが担当。微住者と地元の皆さんのそれぞれの得意分野が見事に1つのクリエイティブの形になった。

キーワード
地域のタマづくり 微住者 × 地元民の
「即興」クリエイティブ





里を見つめる神室の山は
今日も息吹の水与え



秋吹く風が稲穂をゆらし
杉が群がる憩いの里よ
生きる喜び我らに与え



里を見守る薬師の山に
今日も舞い吹く春風よ



里を愛する竜馬の山よ
今日も輝く岩鏡



ああ…時よいつまでも
我がふるさとにありがとう



山野の自覚めが心をいやし
時の流れを御蔵が語り
白壁冴える素敵な里よ



夏に燃えるよ番楽ばやし
鼓笛の音が山野に響き
里の未来に願いをかける



ああ…時よいつまでも
我がふるさとにありがとう



ああ…時よいつまでも
我がふるさとにありがとう



WAGASATO KANEYAMA BIJYU VER.



Copyright © 2022 金山微住の唄制作委員会 All Rights Reserved

WAGASATO KANEYAMA BIJYU VER.STAFF

唄： 渡部俊治 / 稲葉野々
作詞： 秋田屋 純
作曲： むねりょう
企画： 田中佑典
写真： 森本純
デザイン： 渡邊 大路
衣装： 岸 妙子
スタイリング： 阿部 一代
機材/音響： 伊藤 始明
額縁： 今野 颯
映像： 内海悠

Special thanks
お世話になった
金山町の皆さん

YOUTUBE
フルバージョンはこちら



#04

まちの音楽家たちの CD&DVD

1枚目は棟梁・渡部俊治さんの「我が里/技と心」のDVD。このDVDのおかげで最高のコラボが生まれた。もう1枚は丹鮮魚店の晩ごはんにお呼ばれたときに会ったシンガーソングライター柴田敬さんのCD。最終日のイベントではもう1つの即興ユニット「柴田田中」で「イルミネーション」を披露。



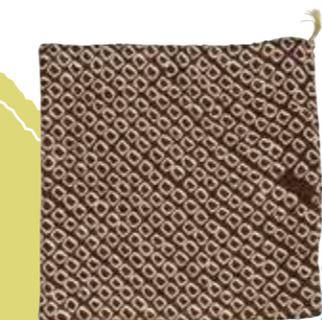
金山のゆるキャラ 「美杉ちゃん」グッズ

特産の金山杉から生まれたゆるキャラ「美杉ちゃん」。微住の初日に食事をした「金山亭」のご主人が美杉ちゃんTシャツを着ているのを発見。観光で来たならそこまでもかもしれないけど、微住すると金山のまちに対してと同じようにゆるキャラに対しても愛着が湧いて思い出の品に。可愛さだけではない、ゆるキャラとも関係づくりが大事かも。



「マルコの蔵」の 手作りティーコースター

街角交流施設「マルコの蔵」。みんなでお茶したり作戦会議する時に連日利用。金山の特産品やお土産もたくさん販売されている中で、布の手作りティーコースターの中から可愛い柄を発見。これぞ手作りの味があって可愛い。



#05

#03



川崎屋の お母さん手作り「辛味噌」

まちのローカルスーパー「川崎屋」のお母さんの手作りの「辛味噌」は金山一の美味しさとか!時には店内でまちのお母さんたちの「女子会」に混ぜてくれたり、滞在中仲良くさせていただき「これみんなで食べな」っていただいた一品。これ、きゅうりやキャベツなどの野菜はもちろん、お肉につけたり、ラーメンに入れても最高のピリ辛万能醬!



#01

お金の円だけでなく、もう1つの「縁」で出会えた
素敵な「金山みやげ」をご紹介します。

KANEYAMA MIYAGE

金山 みやげ

ツボ押し軍手とサービス

田中個人的にツボに入った「ツボ押し軍手」を見つけて、買おうとすると「これも使います?」とおまけでいただいたリゲインのノベルティーのツボ押しをゲット!



光る!

「一心堂」ノベルティーボールペン

こちらもサービスでいただいた「一心堂」の店名が入ったノベルティーのボールペン。ノベルティーとは思えない高級な作りで、なんとペン先が光る仕掛け。



やっけ

ウィンドブレーカーのことを方言なのが「やっけ」というそうで、金山の皆さんも農作業中など少し肌寒い時に愛用しているそう。「一心堂」には可愛い柄のやっけがたくさん。フード付きで可愛く着こなしたい。

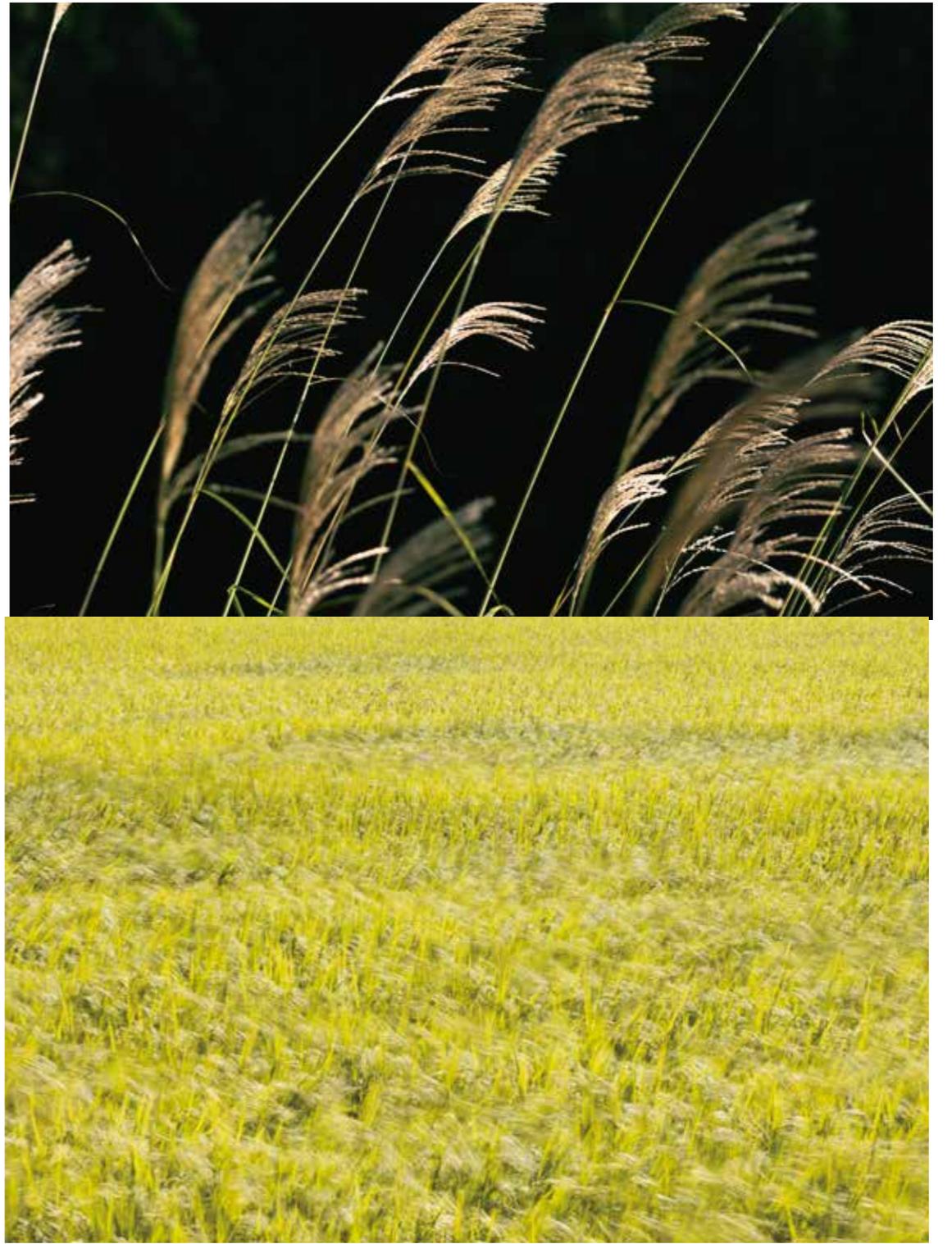
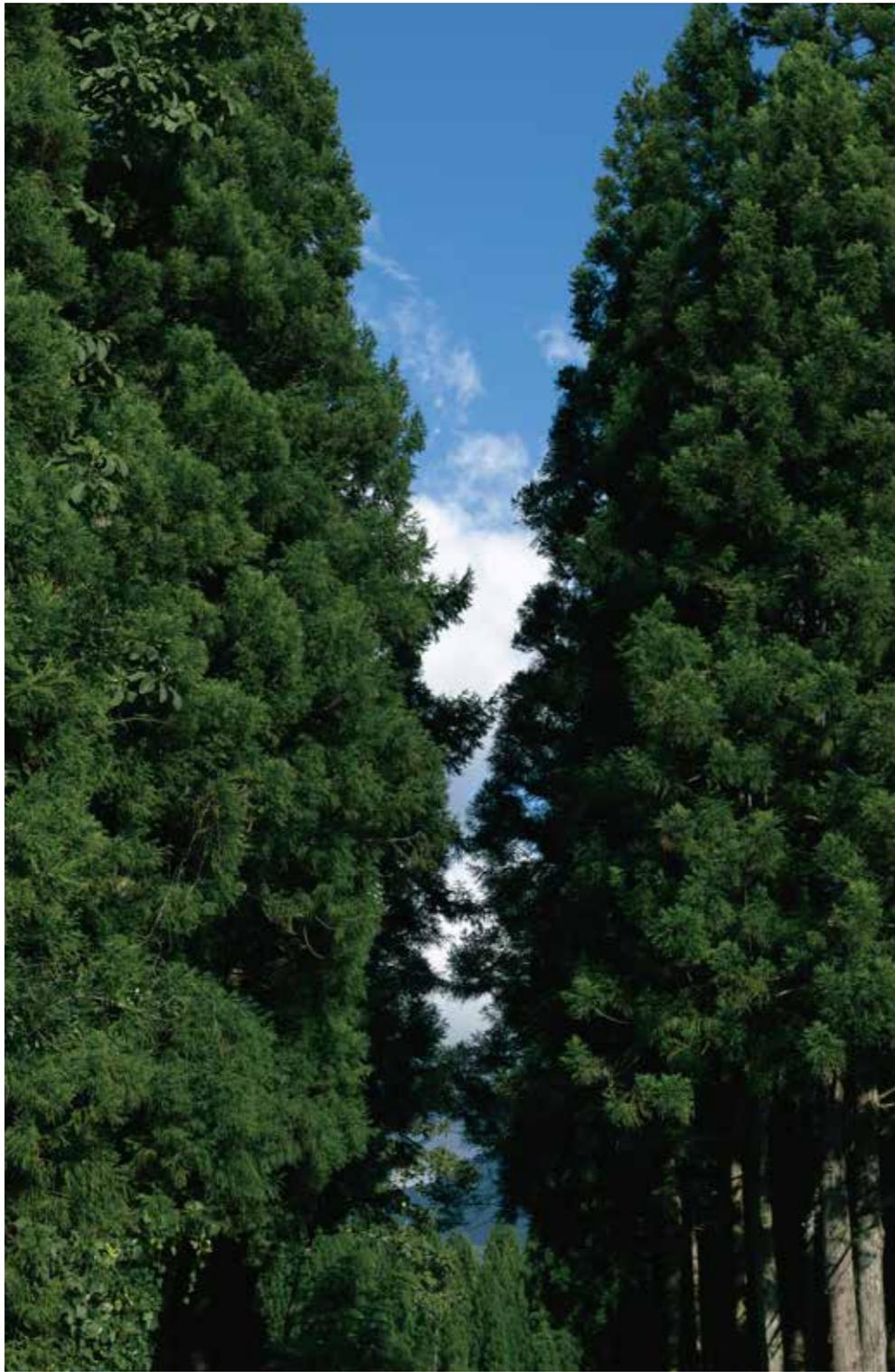
#02

まちの雑貨店 「一心堂」の キッチンな雑貨たち

お花のブローチ

雑多に入ったボックスの中からまたま見かけて一目惚れした可愛いお花のブローチ。ちょうど人数分あったので、微住者5人へのお揃いのおみやげとして。









あとがき

これまでとは“かんづ”が 違う旅へ

2年前私は一度金山町を訪れたことがあったが、その時は1泊2日の滞在だったため、丹さんに連れられ、まちを案内してもらった。

短時間でまちのことを紹介するためには、案内する側もいかに効率的に綺麗にまとめなくてはならない。

正直言うとその当時の金山町への印象は「へえー、素敵なまちだな。」止まりだった。

小さなまちであればあるほど、誰もへ伝わるはっきりとした魅力は数が決まっていて、それを巡っただけではその地域の本当の魅力はわからない。どんなまちであろうとそれは同じだと思う。

今回の旅で大変お世話になった渡部さんは「これまで色々な所から色々な人がこのまちを訪れてくれたけど、今回はなんか“かんづ”が違った。」と旅の終わりに我々との日々の思い出を話してくれた。

この旅が終わった半月後、丹さんから「渡部さんたちと会う度に、微住の思い出を話されます…（笑）。」と何よりも嬉しい知らせが届いた。

微住は微住者と住民がちょっと長く“時間”を共有することで、

特別何かキャッチーな物や建物を新たに作らなくても、まちの楽しみがじわじわ生まれる旅。

まさに丹さんがこのまちで大事にしている「金山の時間」こそ、

我々がこれからの旅で大事にしたいキーワードだと思う。

2年前金山からの帰り道とは全く違う“かんづ”が私の心にあった。

それは我が”ゆるさと”をおもう気持ちだろう。

また会いに行きます、金山。



企画：田中佑典

福井県福井市出身。職業、生活芸人。アジアにおける台湾の重要性に着目し、2011年から日本と台湾を行き来しながら、台日間での企画やプロデュース、執筆、クリエイティブサポートを行う“台日系カルチャー”のキーパーソンとして活動。日本と台湾を行き来する中で、地方創生の方面にて福井発祥の新しい旅の形『微住®』を提唱。2018年度口ハスデザイン大賞受賞。2020年、2021年と徒歩で福井県17市町を巡る『微遍路』を実施。各地域での出合いやその地域でまだ知らない魅力を発掘する様子が反響を呼び、各メディアにて取り上げられる。現在は福井県内だけでなく、県外の行政ともタイアップするなど『微住®』の活動を広げる一方、今後の未来で価値となり得る生活の考え方や暮らし方を様々な形で日々発信している。

発行	金山町 (2023年2月)
企画・編集	田中佑典
執筆・写真	稲葉彩夏・内海悠・今野颯・森本絢・渡邊大路
デザイン	高橋美紀(とるねい堂デザイン) 吉野敏充デザイン事務所 株式会社レベルフォーデザイン
SPECIALTHANKS	金山町で出合い協力頂いた皆さん